



みどり
水土里ネット

未来の「水」「土」「里」を
創造する

2025.10.10 No.2

新潟の 土地改良

新潟県土地改良

事業団体連合会

Vol.628

令和7年度 第2号

Contents

北陸四県土地改良事業団体連合会 要請活動	1
自由民主党森山幹事長との懇談会	2
農業農村整備の集い	3
ぼうさいこくたい2025in新潟	4
疏水フォーラム in 広桃用水2025	5
令和7年度 水土里ネット女性の会研修会& 都道府県水土里ネット女性理事意見交換会	6

令和6年度 北陸地区農地集団化促進協議会 通常総会及び研究会	7
北陸四県土地改良事業団体連合会協議会職員研修会 ..	8
令和7年度 農地部・県土連意見交換会／ 当会ホームページのリニューアルのお知らせ	9
連合会日誌／表紙写真紹介	10

北陸四県土地改良事業団体連合会 要請活動

去る6月2日から3日の2日間、東京都において、北陸四県土地改良事業団体連合会協議会は、農林水産省、財務省、自民党本部に対して、令和8年度予算確保に向けた要請活動を行いました。

農林水産省では、長井大臣官房長及び青山農村振興局次長へ、財務省では、宇波主計局長及び山川主計官へ、自民党本部では森山幹事長及び鈴木総務会長へ要望書を手交しました。

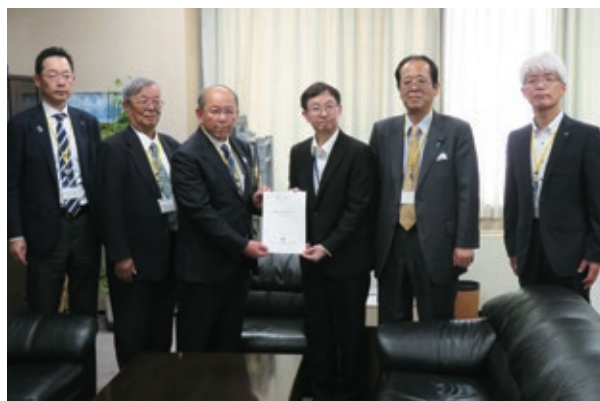
各県の抱える特色や課題等に加え、土地改良事業の成果について事例を交えて説明することで、継続的な事業推進の必要性を伝えました。新潟県は、ほ場の大区画化とスマート農業の推進等について説明を行いました。

四県全体として生活の礎である食を守る農業を維持・発展させていくために話題となっていた別枠予算についても盛り込み要請活動を行いました。

加えて新潟県としては、県選出である斎藤衆議院議員、国定衆議院議員、小林参議院議員へも要請活動を行いました。小林議員には要望書を直接手交し、新潟県の現状及び今後について懇談を行いました。



＜長井大臣官房長(左から三番目)へ要望書を手交＞



＜青山農村振興局次長(右から三番目)へ要望書を手交＞



＜森山幹事長(左から三番目)へ要望書を手交＞



＜宇波主計局長(左から四番目)へ要望書を手交＞



＜鈴木総務会長(右から三番目)へ要望書を手交＞



＜小林議員(左)へ要望書を手交＞

要請のポイント

- 一. 食料安全保障を支える北陸地域の農業生産を持続可能なものとする土地改良事業の計画的な推進のため、必要な予算を安定的に確保すること。特に、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策及び、同じく防災・減災対策としての役割も担う多面的機能支払交付金と中山間地域等直接支払交付金については、令和8年度以降も十分な予算を確保すること。
- 二. 「令和6年能登半島地震」及び「令和6年奥能登豪雨」により、甚大な被害を受けた北陸地域の農地・農業用施設並びに、農村生活環境施設の復旧・復興を加速化するとともに、災害防止の取組を早急に進めること。また、災害対応のデジタル化など、事務手続きの効率化を図ること。
- 三. 農業競争力の強化を図るため、担い手への農地集積・集約化や高収益作物への転換、農地の大区画化、汎用化、スマート農業の導入を促す農地整備を引き続き推進すること。
- 四. 農村地域の国土強靱化を図るため、老朽化した農業水利施設の更新・長寿命化や、豪雨・地震対策等を引き続き推進すること。
- 五. 社会情勢の状況を踏まえた、地域農業を支える土地改良施設の維持管理費に対する支援の強化など、施設を適切に保全管理している土地改良区の運営基盤強化に対する支援を推進すること。
- 六. 特に、新たな食料・農業・農村基本計画の実効性確保のための農業構造転換集中対策を推進するうえで、土地改良に必要な別枠予算を確保すること。

自由民主党森山幹事長との懇談会

去る7月12日、国が検討している農業構造転換集中対策の実施について自由民主党森山幹事長と懇談会を開催いたしました。

土地改良区理事長と共に農地整備の推進、防災減災・長寿命化対策、地方自治体の負担軽減及び財政措置等についての要望書を手交し、新潟県議会議員の方々も交え、土地改良の現状や重要性について意見交換を行いました。



< 森山幹事長(中央)へ要望書を手交 >

要請のポイント

- 一. 農地整備の推進
- 二. 防災・減災対策の推進
- 三. 地財措置を活用した財源確保
- 四. 電気料金高騰対策継続の要望
- 五. 農業水利施設の維持管理費に対する支援制度の要望

農業農村整備の集い

去る6月18日、砂防会館別館1階 シェーンバッハ・サボー（東京都）において、全国土地改良事業団体連合会・都道府県土地改良事業団体連合会の共催による農業農村整備の集いが開催され、全国から農業農村整備に携わる関係者約1,200人が参加しました。

全国土地改良事業団体連合会 二階会長は開会挨拶として「食料安全保障の確保には、農業の構造転換を強力に進める必要がある。既存の土地改良予算に加え、別枠予算を確保できるよう、土地改良団体として取組んでいくことが重要。」と呼びかけを行いました。また、自由民主党森山幹事長をはじめとし、多くの方から祝辞が行われました。

続いて、金澤佐賀県土地改良事業団体連合会理事から以下の要請書案文が朗読され、満場一致で採択された後、宮崎都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問より情勢報告が行われました。

最後に、あおり水土里ネット女性の会、青年部会による発声でガンバロウ三唱が行われ、集いは盛会裏に終了しました。

要請のポイント

- 一 食料・農業・農村基本計画に基づき初動5年間で農業の構造転換を集中的に実施するとともに、国土強靱化実施中期計画に基づいた取組を一層推し進めるため、農業・農村を支え、守り、我が国の食料安全保障の確保に欠かせない土地改良事業をスピード感を持って推進できるよう、当初及び補正予算とあらゆる機会において、別枠を含めた必要な予算をしっかりと確保すること。
- 二 土地改良法の改正を受けて、制度の趣旨及び内容の十分な浸透を図ること。また、水土里ビジョンの作成を始めとする農地・農業用水等の地域資源を次世代につなごうとする土地改良区や土地改良事業団体連合会、市町村等の取組への支援や地方財政措置の充実を図ること。
- 三 国内の農業生産の増大と食料自給力の確保のため、地域計画に基づく担い手への農地の集積・集約化、米から高収益作物への転換、麦・大豆等の本作化、スマート農業の導入やほ場周りの管理の省力化を促す大区画化、中山間地域におけるきめ細かな整備等の農地整備と情報通信環境の整備を推進すること。
- 四 大規模災害からの復旧・復興や再度災害防止の取組を早急に進めるとともに、農地復旧についての農家負担の軽減に配慮すること。併せて、農村地域の国土強靱化のため、基幹から末端に至るまでの農業水利施設の更新・長寿命化や、豪雨・地震対策等を推進すること。
- 五 自然的、社会的、経済的な情勢変化を踏まえ、高い公共性・公益性を有し、食料の安全保障の確保に貢献している土地改良施設の維持管理に対する支援を充実させること。
- 六 農村地域を支えている多面的機能支払や中山間地域等直接支払について、活動組織の体制強化や支援範囲の拡大等を図るため、更なる制度の拡充及び必要な予算の確保を行うこと。
- 七 ICT、AI等を活用して、土地改良施設の管理の省力化・高度化等を図る取組を推進するとともに、中小規模の土地改良区を対象とした合併など、食料安全保障を支える土地改良区の運営基盤強化に対する支援を推進すること。
- 八 上記事項が確実に実施されるよう、今後、改定が予定される土地改良長期計画に位置付け、それらの推進に当たり、水土里ネットが有する技術、経験などを充分发挥できるよう配慮すること。



<二階全土連会長の開会挨拶>



<会場の様子>

ぼうさいこくたい2025 in 新潟

去る9月6日から7日にかけて、国（内閣府等）の主催による「ぼうさいこくたい2025」が開催されました。「ぼうさいこくたい」は国民全体の防災意識を向上させることを目的とし、平成28年に第1回大会が東京都で開催され、毎年開催地を変え開催されております。今年は「語り合い・支え合い～新潟からオールジャパンで進める防災・減災～」をテーマに初めて新潟県で開催されました。

当会は9月6日に北陸農政局 信濃川水系土地改良調査管理事務所及び新潟県、新潟市と共に農業水利施設見学ツアーを共催し、県内の防災に関わる土地改良施設の説明を行いました。

ツアーは朱鷺メッセをスタート地点とし、1つ目の見学先である新潟県庁展望回廊にて越後の成り立ちについて説明がありました。その後、親松排水機場や西蒲原排水中央管理所にて新潟県の農業と密接に関わる水との歴史や、排水機場をはじめとした農業用施設の重要性について説明が行われました。参加者からは「学校で習った記憶があるが、普段の生活では意識しなくなっていた新潟の地形について改めて認識することができた。排水機場無くしては暮らすことができない土地に住むことを理解できたことで、新潟県は生活と農業が密接に関わっていると実感できた。」と感想を聞くことができました。



< 親松排水機場見学の様子 >



< 西蒲原排水中央管理所見学の様子 >

その後、新潟市南区にある国内初の教育ファーム「新潟市アグリパーク」にて、農業体験と食育活動を実施しました。地産地消を推進する同施設では、地元食材を活用したレストランで昼食をとり、地域の食文化への理解を深めました。午後には、新潟大学の吉川教授を講師に迎え、「田んぼダム」に関する講演を行いました。新潟が全国に先駆けて取り組む田んぼダムの仕組みや役割について、実際の現場を見ながらの説明があり、参加者の理解を深める機会となりました。参加者からは、「田んぼダムについて名前だけしか知らなかったが、仕組みを理解できた。災害に強い地域づくりのために、今後も継続してほしい」といった感想が寄せられました。

最後には、旬の野菜の収穫体験を行い、参加者からは、「自分の手で収穫することで、楽しさに加えて、生産者へのありがたさを感じることができた。農業について興味を持ったので、育てるのは難しいが、産地や品種について調べてみたい」といった声が聞かれました。

一日を通して、防災意識の向上に加え、新潟県における土地改良施設や農業の重要性を学ぶことができる、非常に充実したツアーとなりました。



< 吉川教授による田んぼダムの説明 >



< 収穫体験の様子 >

疏水フォーラムin 広桃用水2025

去る9月3日～4日の2日間、日本トーター グリーンドーム前橋(群馬県前橋市)において、疏水フォーラムin 広桃用水2025が開催されました。

このフォーラムは、疏水に関する情報発信及び疎水ネットワークの会員間の交流を目的に開催され、関係者約800名が参加しました。

1日目は疏水を取りまく情勢や新たな価値の創造について基調講演や対談が行われました。

2日目は利根川から取水した用水を広瀬川・桃ノ木川へ導く役割を持つ幹線水路等の現地視察が行われました。

疎水ネットワークとは？

各種団体及び個人が、疏水を通じてネットワークを図る組織とし、会員の主体的な参加を通じて地域の活性化を図ることを目的とした団体です。

全国及び都道府県土地改良事業団体連合会48団体のほか土地改良区83団体、市町村3団体で組織されています。

フォーラム概要

1日目		
内 容	説 明 者	
開会宣言	群馬県土地改良事業団体連合会	会 長 熊 川 栄
主催者挨拶	広瀬桃木両用水土地改良区 (疎水ネットワーク会長)	理事長 女 屋 一之
開催地挨拶	前橋市	市 長 小 川 晶
来賓祝辞	群馬県 都道府県水土里ネット 農林水産省関東農政局	知 事 山 本 一太 会長会議顧問 進藤 金日子 局 長 安 東 隆
基調講演「疏水を取りまく情勢について」	農林水産省農村振興局整備部水資源課	課 長 瀧 川 拓哉
対談「疏水の新たな価値の創造に向けて」	株式会社 ジンズホールディングス 株式会社 ランドスケープ・プラス	代表取締役CEO 田 中 仁 代表取締役 平 賀 達也
講演「広瀬用水の歴史」	群馬地域学研究所	代表理事 手 島 仁
対談「広瀬川対談」～市街地を流れる疏水管理～	仙台東土地改良区(宮城県) 広瀬桃木両用水土地改良区	
閉会挨拶	全国土地改良事業団体連合会	常務理事 市 村 和寿

2日目	
内 容	研 修 先
現地研修	・坂東大堰・坂東大堰合口、広桃用水太陽光発電所 ・広桃導水路、広桃用水小水力発電所 ・広瀬川制水門(群馬県企業局 柳原発電所) ・準用河川 風呂川、十六本堰 ⇒ 前橋市街地(広瀬川 交水堰)



<フォーラムの様子>



<現地視察の様子>

令和7年度 水土里ネット女性の会研修会 & 都道府県水土里ネット女性理事意見交換会

去る6月17日から18日にかけて、TKP赤坂カンファレンスセンター（東京都）において、全国土地改良事業団体連合会・全国水土里ネット女性の会の共催による令和7年度水土里ネット女性の会研修会&都道府県水土里ネット女性理事意見交換会が開催され、全国から都道府県女性の会会員及び都道府県水土里ネットの女性理事等をはじめとし、約180名が参加しました。

全国水土里ネット女性の会 西会長、全国水土里ネット 星野理事の挨拶から始まり、農林水産省農村振興局整備部設計課 小谷技術調査官からの情報提供、全国水土里ネット室本専務理事からの基調講演が行われました。

その後、室本専務理事の進行の下、「令和7年度農業農村整備事業関係予算」や「土地改良概論と国政の仕組み」等をテーマとして活発な意見交換が行われました。そこでは、令和の米騒動を経て、普段メディアではピックアップされることの少ない生産者の立場から、米の価格についての消費者への理解促進や、農業の大切さ等について多くの意見が発表されました。

続いて、全国水土里ネット女性の会 西会長、石川副会長、栗野副会長による農業農村整備の活動報告、ブロック代表理事等による業務紹介、現状・課題、提案が発表され、初日が閉会となりました。

閉会後は、場所を移し、MARRYGRANT赤坂にて情報交換会が行われました。都道府県水土里ネット会長会議顧問 宮崎雅夫氏が来賓として参加され、多くの出席者と情報交換を行いました。



<全土連室本専務>



<全国水土里ネット女性の会 西会長>

2日目は「土地改良事業団体連合会や土地改良区の職員及び女性理事の方々が、意見交換を通じて土地改良業務の現状や課題を共有し、自身の業務への解決策等につなげていただく」と趣旨としてグループ討論が行われました。米不足や値上がりについてどのような視点で捉えているかをメインテーマとして、生産者の立場からの活発な意見交換が行われました。価格については、安定化を望む意見や妥当な価格について意見が出る中、「なぜ米ばかり高いと言われるのか」や「市場で値段が上がる理由がわからない」といった現状に困惑している声もありました。全国各地の様々な状況や意見を知ることができたことに参加者からは非常に有意義な時間を過ごすことができた感想を聞くことができました。



<研修会の様子>



<懇親会の様子(宮崎顧問)>

令和6年度 北陸地区農地集団化促進協議会通常総会及び研究会

去る6月26日～27日の2日間、呉羽ハイツ(富山市)において、令和6年度北陸地区農地集団化促進協議会通常総会及び研究会が開催されました。

この通常総会及び研究会には、換地実務者間での意見交換等を目的として、約30名が参加しました。

通常総会では協議会の収支等について、報告が行われたほか、協議会の永年勤続表彰として4名の方が受賞しました。なお、当県からは新津郷土地改良区の石井事務長が受賞しました。

研究会では、農地集団化を巡る最近の動向について、北陸農政局の佐藤課長からの講演が行われたあと、北陸四県の換地実務担当者間で筆登記や実際の処理事例等について意見交換が行われました。

2日目は国営農地再編整備水橋地区等の現地研修が行われました。

通常総会概要

内 容	説 明 者
開会挨拶	富山県土地改良事業団体連合会 専務理事 宮田 義人
令和6年度表彰式 北陸地区農地集団化促進協議会 永年勤続者表彰	石川県 かほく市産業建設部農林水産課 北川 峰章 福井県 越前町土地改良区協議会 阿蘇谷 明美 新潟県 新津郷土地改良区 石井 実 富山県 朝日町土地改良区 森野 隆樹
来賓挨拶	北陸農政局農村振興部土地改良管理課 課長 佐藤 大治郎 富山県農林水産部農村整備課 課長 國分 義幸
議事	第1号議案 令和6年度 事業報告並びに収支決算について 第2号議案 令和7年度 事業計画(案)並びに収支決算(案)について 第3号議案 令和7年度 会費負担基準(案)について 第4号議案 令和7年度 役員の選任について



< 通常総会の様子 >



< 表彰状を受け取る新津郷土地改良区 石井氏 >

研究会概要

1日目	
内 容	説 明 者
講演「農地集団化を巡る最近の動向について」	北陸農政局農村振興部土地改良管理課 課長 佐藤 大治郎
換地実務等に関する意見交換	北陸四県出席者
2日目	
内 容	研 修 先
現地研修	国営農地再編整備 水橋地区



< 講演を行う佐藤課長 >



< 現地視察の様子 >

北陸四県土地改良事業団体連合会協議会職員研修会

去る9月9日～10日の2日間、石川県内において、北陸四県土地改良事業団体連合会協議会職員研修会が開催されました。

この研修会は現地視察等を通じて、北陸四県土連の職員間での情報共有や親睦を図ることを目的として開催され、約40名が参加しました。

研修会では、令和6年能登半島地震で被災し、現在も爪痕が残る農道橋や漁港等を視察しました。

1日目は令和7年6月から暫定供用を開始した能登島と能登半島を結ぶツインブリッジ能登（中能登農道橋）を視察しました。

2日目は最大4mにも及ぶ地盤隆起等により一時使用不可能に陥った鹿磯漁港や日本で初めて世界農業遺産に認定された白米千枚田^{しろよね}を視察しました。

参加した職員からは「暫定供用や仮復旧で使用している施設など原形復旧にはまだ道半ばという印象を受けた。四県との交流は今後も続いていくので、視察した施設の現況などについて、常に情報共有を図っていきたい。」といった感想が聞かれ、実りある研修会となりました。



＜ツインブリッジ能登にて被災状況等の説明を受ける様子＞



＜ 損傷した橋げたを支える仮設材 ＞



＜ 鹿磯漁港にて被災状況等の説明を受ける様子 ＞



＜ 隆起した泊地 ＞



＜ 応急した物揚場 ＞



＜ 白米千枚田 ＞

令和7年度 農地部・県土連意見交換会

去る8月6日、県土連ビルにおいて、令和7年度農地部・県土連意見交換会を開催しました。

この意見交換会は、普段取り組んでいる土地改良事業における多種多様な業務についての情報交換や課題解決に向けた意見交換により、今後の業務を円滑に進めることを目的として行っており、県農地部から11名、当会から17名の計28名が参加しました。

当会技術部の山崎設計第1課長の挨拶で開会した後、3つグループに分かれ、それぞれテーマごとに意見交換を行いました。

参加した職員からは、「問題点の洗い出しができて良かった。課題の解決や、やり方の見直しにより、より良い土地改良事業の推進に邁進したい」といった意見が聞かれるなど有意義な意見交換会となりました。



< 意見交換会の様子 >

テ ー マ	細 目
ストックマネジメント事業と 土地改良区の体制強化等について	①ストックマネジメント事業における特別仕様書の見直しについて ②土地改良区職員の技術力向上に向けた研修会等について ③水土里ビジョンの策定及び土地改良区の体制強化について
農地中間管理事業における地区設定について	①機構関連型ほ場整備事業の地区の設定について ②確定測量で確認される地区外施工について ③地区境界測量において立会省略の検討について
ほ場整備の調査設計及び経済効果算定について	①実施設計に配慮した事業費算出について ②項目の補正等による委託費の調整について ③園芸作物の導入について ④経済効果の算定について

当会ホームページのリニューアルのお知らせ

この度、当会のホームページを全面リニューアルいたしました。

(URL:<https://www.doren-niigata.or.jp/>)

皆様に快適にご利用いただけるようデザインの一新に加え、掲載情報の整理と拡充を行い、スマートフォンやタブレット端末からも見やすく改善いたしましたので、是非ご覧ください。



視 認 性 の 向 上

全体的なデザインを見直し、PCだけでなく、スマートフォンやタブレットでも見やすく分かりやすいレイアウトに変更しました。

情 報 の 拡 充

ホームページ管理システム(CMS)の活用により、会の活動内容、採用情報などの最新情報をより詳しく、タイムリーにお伝えできるようになりました。

操 作 性 の 改 善

目的の情報にスムーズにアクセスできるよう、ナビゲーションを改善しました。



連合会日誌

7月 2日(水)	令和7年度 第1回組織運営検討委員会	県土連ビル
12日(土)	自由民主党森山幹事長との懇談会	新潟市
15日(火)	ほ場整備地区園芸産地化現地研修会	上越市
24日(木)	都道府県土地改良事業団体連合会・会員土地改良区事務責任者会議	オンライン
8月 1日(金)	令和7年度 新潟県担い手経営発展推進大会	新潟市 (オンライン同時開催)
5日(火)	新潟県管理運営体制強化委員会・受益農地管理委員会	県土連ビル
6日(水)	令和7年度 農地部・県土連意見交換会	県土連ビル
9月 3日(水)～4日(木)	疏水フォーラム in 広桃用水2025	群馬県
6日(土)	ぼうさいこくたい2025 in 新潟(第10回防災推進国民大会) 農業水利施設見学ツアー	新潟市
9日(火)～10日(水)	北陸四県土地改良事業団体連合会協議会職員研修会	石川県
16日(火)	都道府県土地改良事業団体連合会・会員土地改良区事務責任者会議	オンライン
17日(水)	令和7年度 北陸地区農地集団化促進協議会換地技術者研修会	県土連ビル
17日(水)～18日(木)	令和7年度 全国水土里ネット女性の会&都道府県水土里ネット女性理事意見交換会	新潟市
18日(木)	第1回事業推進部会	県土連ビル
25日(木)～26日(金)	全国土地改良施設管理事業推進協議会研究会	石川県

表紙写真紹介



国際田上竹祭 たがみバンブーブー2025 (新潟県田上町)

たがみバンブーブーは竹の名産地として知られている田上町が竹を使った魅力発信の為に、地元の方々と共に活動し、作り上げたプロジェクトです。

会場には竹の切りだし、切断、穴あけ、設置などすべてを地元の方で作り上げた竹あかりのアート作品が展示されているほか竹林の跡地を活用した駅前アート作品が展示されており、地域が一体となって町を盛り上げています。



〈道の駅たがみ〉
ホームページ



未来の「水」「土」「里」を創造する

